

25前期_英語系1年_業界研究Ⅰ_野崎恵美 坂真由美_実務家.xlsx

実施回	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等		
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明、国際エアライン学科のカリキュラム、メールの返信の仕方	(1)国際エアライン学科の授業カリキュラムおよび校外学習などの計画について知る(2)就職活動の準備としてすべきことを考える	就職活動をする準備として、業界や自分自身を知る必要性がわかるようになる	傾聴力、計画力	【授業運営方法】:アクティブラーニングを原則とする。【持参物】メモを取る癖をつける為に筆記用具ノートは必須である。講演を聴講する際はスーツ着用が原則である。	授業内で指示	
2	講演会1	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
3	業界ニュース、身だしなみ、マナー、ルール、資格試験について	(1)エアライン業界のニュースを読み話し合う(2)身だしなみなどのマナーやルールについて確認する	エアライン業界のニュースを知る、身だしなみなどのルールについて理解する	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	グループワーク	〃	
4	ハイパーQU、履歴書	(1)ハイパーQUの回答(2)履歴書の左半分の書き方	履歴書の基本的な書き方について知る	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	グループワーク	〃	
5	講演会2	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
6	各企業が求める人材とは	業界別の求める人材を調べる	業界ごとの求める人材を知る	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	グループワーク	〃	
7	講演会3	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモが自然にとれるようになる	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	

25前期_英語系1年_業界研究Ⅰ_野崎恵美 坂真由美_実務家.xlsx

8	業界ニュース、資格・アルバイトについて	(1)エアライン業界のニュースを読み話し合う(2)資格・アルバイトについて確認する	エアライン業界のニュースを知る、資格・アルバイトについて理解する	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	グループワーク	〃	
9	講演会4	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモが自然にとれるようになる	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
10	面接当日NG集、発声・笑顔トレーニング・面接過去質問例	面接当日のふるまい・表情・発声方法	会社訪問や面接試験でのタブーなどについて理解する	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	グループワーク	〃	
11	講演会5	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、自然にメモがとれ、質問や疑問点を見つけることができるようになる	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
12	長所と短所	自分の長所短所を少ない文字で表現する	自分の長所短所をひとことで表すことができる	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	個人作業とグループワーク等	〃	
13	講演会6	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、自然にメモがとれ、質問や疑問点を見つけることができるようになる	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
14	業界ニュース、弱点補強	(1)エアライン業界のニュースを読み話し合う(2)自分の弱点を補強する	エアライン業界のニュースを知る、自分の弱点を補強することができる	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	個人作業とグループワーク等	〃	
15	前期の振り返り、夏休みの課題	前期の生活・学習計画を振り返る	エアライン業界のニュースを知る、前期の生活と学習状況を振り返り、今後の課題を見つけることができる	課題発見力	個人作業とペアワーク等		

25前期_英語系1年_就職研究 I_河合加奈代 実務家.xlsx

実施 回	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考	授業外学習・宿 題・提出課題 等	重要用語・キ ーワード(任意)
	就職の目的を意識した自己分析を行い、能力や人的適正に合った業界や職種を探る。就職活動の流れを意識し、主体的に就職活動に取り組めるようにする。グループワークを通して、コミュニケーション能力を培う。	(1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント	≪実務経験のある教員による授業科目≫航空業界の状況と特性を理解し求められる人材を理解する。航空会社や全国の空港所在地ごとのハンドリング会社を知ること、就職活動に繋げる。配布プリントを中心に自己分析を行い、自身の能力や強み弱み、志向を探る。自己分析の結果をもとに航空業界にこだわらず他の業界や職種への理解を深める。履歴書作成、作文、業界・職種研究、面接試験のノウハウの修得と対策を行う。	【専門知識スキル】：1. 航空業界の求人特性を理解する。2自己分析を行うことができる。その結果を活かし、自身の強み弱み、志向を知ることができる。3. 履歴書の基本的な作成ができる。4. 社会にどのような仕事があるか、業界、職種の知識を深め、業界研究、職種研究の進め方を理解する。【社会人基礎力】：社会に適応できる基本的な知識や発信力を得る。	【受講ルール等】：(1)使用テキストと配布プリントは必ず持参する。(2)課題の提出期限は原則として授業開始時であり、積極的に取り組み、期限を守ること。提出できない場合は、自ら申告し、講師の指示に従うこと。【評価項目(評価の方法)】：(1)授業への取り組み姿勢(授業内課題、配付資料の理解度)…30% (2)課題の提出及び提出物の内容の充実度・完成度の評価…40% (3)グループワークや発表の評価…30% 以上の(1)(2)(3)をもとに、欠席／遅刻／早退の状況や態度(含身だしなみ)不可のものをマイナス評価したうえで、最終的にABCF評価。【その他】：対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。		
	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等		
	1 オリエンテーション 科目の狙い、到達レベル、就活 ステップとスケジュール	(1)科目の狙い、オリエンテーション (2)到達レベルの目標 (3)講義スケジュールの説明 (4)就活ステップとスケジュール	科目の主旨が理解できる。	傾聴力、状況把握力	【授業運営方法】：CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキストに沿って就職までのステップを理解する。		
	2 航空業界の現状と就職活動への影 響	(1)コロナ禍前後の航空業界について (2)コロナ回復による求人への 影響について (3)近年のOB・OGの 就職状況について	航空業界の今と将来について理解し、自身の就職と繋げて考えられる。航空業界の様々な職種とそれ以外の業界について知ることができる。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】：スライド・プリントに沿ってテーマについて理解する。		
	3 (1)キャリアとは (2)自己分析の必 要性	(1)外的キャリアと内的キャリア (2)業界や職種選び、ESや面接の準備をするためには何が必要か考える。	外的キャリアと内的キャリアを理解し、働く目的を意識し、今後の自己分析に繋げることができる。	傾聴力、状況把握力	〃		
	4 自己分析1	・マイエンブレム ・わたしは誰？	自身の価値観を知ることができる。自分を説明することで、意外性などの新しい発見ができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【授業運営方法】：テキスト・プリントを使用した、グループディスカッション		「もっとな モットー」
	5 自己分析2	・やる気のもとは何？ ・出会い	やる気のもとを探り、内的キャリアを 考えることができる。自分の人生観や 価値観に影響を与えているものを知 ることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	〃		職種で求めら れる志向を知 る
	6 自己分析3	人生線分析	過去を客観的に振り返り、出来事から自己形成を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	〃		強みと経験の 照合

25前期_英語系1年_就職研究 I_河合加奈代 実務家.xlsx

7	自己分析4	キャリアアンカー	キャリアアンカーから仕事に対する志向を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	〃		
8	航空会社の比較	航空機種類・路線・基地空港・企業理念・取り組みなど	FSC・MCC・LCCそれぞれの航空会社の特長を知り、志望理由に繋がられる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	〃	プリント提出	
9	航空業界の様々な仕事	(1)FA・GS以外の仕事や役割 (2)会社同士の関わりと航空機運航 (3)航空会社とハンドリング会社	航空機運航に必要な仕事から、航空会社と受託社を関係性を理解できる。国内ハンドリング会社を知り、就活に活かせる。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性	【授業運営方法】:スライド・プリントに沿ってテーマについて理解する。		
10	ハンドリング会社の仕事	航空貨物・W&B・ランプハンドリング	旅客関連業務以外の仕事を理解し、旅客業務との関係性や、他の職種も含めた自身の志向を探ることができる。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性	〃		
11	航空会社と安全	航空機運航に関わる職種や役割・責任を過去の航空機事故から考える	安全運航に対する意識が持てる。FA・GSの職種からそれぞれの安全を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【授業運営方法】:テキスト・プリントを使用した、グループディスカッション	作文提出	
12	会社を描く	わたしのカイシャ	会社の部門やその役割を考えることで、職種の特性や自身の志向、キャリアビジョンを考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	〃		
13	(1)自己分析6 (2)自己分析の整理	(1)もっともな、モットー (2)いままでの自己分析を整理する。	自分の信条や習慣、考え方には長短があり、検討すべきかどうか考えることができる。(2)自己分析を整理し、自分を理解することができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	〃		
14	履歴書の書き方	履歴書(右側)、自己紹介書は何を見られ、どのようにアピールするのか※志望動機は省略可	履歴書(右側)の重要性を書き方のポイントを理解する。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【授業運営方法】:実際のフォーマットを使用し、記入	プリント提出	
15	キャリアシミュレーション	就職後の職業生活のイメージ(就業イメージ)を伝えるためのグループワーク	就職後の長期的な職業生活のイメージを獲得するだけでなく、社会生活で直面しやすい困難場面への関心を高め、その対処策についてグループワークを通じて考えを深めることができる。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力	【授業運営方法】:アクティブラーニング	履歴書提出	

25前期_英語系_1学年_英日表現 &スピーチ_宮村秀美 実務家.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	通訳や通訳案内士(ガイド)では的確な英語、正確な日本語を話すことが要求される。本講座では日本語で特徴的な表現を英語でどのように話しかを学んだ後、通訳練習する(通訳の基本訓練を用いる。英日のクイックレスポンスなど)日本語、英語それぞれの簡単なスピーチを作成し発表する	プリント教材	「実務経験のある教員による授業科目」表現の比較を中心に日本語表現に引っ張られない英語表現を習得し、話せる様にする。英語独自の表現を利用してそれを実際の場面で通訳できるようにする。当授業では日英の共通点、相違点を確認でき、英語らしい表現についての基礎を学び、会話で使えるようにする。また、スピーチについては発話を活用できるようにする。	【専門知識スキル】:日本語解釈ができ、異文化を意識して英語的発想ができる。さらに話すこと、通訳ができるようになる。学んだことを使ってスピーチ作成ができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ、実行力することができる。スピーチ作成を通して確実意見を発信しながらテーマについて問題点を見出す能力を身に付けることができる	【受講ルール等】:資料配布はファイルにきちんと保存すること。課題の提出は授業時間内のみ受け取ることにする。【評価の観点】日本語解釈ができているか、日本語表現に対して英語表現が正確に話せているか。スピーチが正しく書かれて話せているか。【その他】:ペアワーク、3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:授業参加度ー40%、スピーチ発表ー20%、期末テストー40%(期末テスト未受験の場合は、0点評価になる)。なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード'(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)語順の違いを説明 (3)リピーティングやクイックレスポンスなどの発話訓練の説明	日英の語順の違いを画面で学び、口頭で言える様にする	異文化の理解、語順の違いが意識できるようになり、話すことができる	言葉で伝える力	【授業運営方法】:授業は書き、音読しながら進める。音読についてはクイックレスポンスで行う。ペアブックティスで理解度チェックができるようにする。		
2	Be言語とhave言語	存在を示す英語表現を話す	英語の構文の理解、日本語の構文の理解。英文の並び替えができるようになる	主体的に働きかける力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	無生物主語の理解	人間が主体かどうかを考えて自然な言葉で話す	主語を明確に伝える事ができる	疑問を持って調べる力	〃		
4	来る、行くの表現法	come/goとの違いを意識して話す	〃	言葉で伝える力	〃		
5	スピーチ作成	学んだ項目を参考にしてスピーチ作成	日本語で主張する事ができる	積極的に考える力	〃		
6	後方重心型の日本語、前方重心型の英語	主体と行動の重点の置き方	英語の構文の理解、日本語の構文の理解。英文の並び替えができるようになる	発進力	〃		
7	日本語と英語のイディオム	よく似た表現、違う表現 1	ぼかし表現の日本語を明快に表現し話すことができる	整理力	〃		

25前期_英語系_1学年_英日表現&スピーチ_宮村秀美 実務家.xlsx

8	日本語のイディオムを英語に直す	よく似た表現、違う表現 1	主語を明確に捉えることができる	考える力	〃		
9	カタカナ語とそれに対応する英語 1	よく似た表現、違う表現 2	文化的背景を知ることができる 1	柔軟性	〃		
10	英語に訳しにくい日本語 1	発想の違い 1	文化的背景を知ることができる 2	深掘りする力	〃		
11	スピーチ作成	発想の違い 2	英語でスピーチを構成することができる	整理し発表する力	〃		
12	スピーチ発表	学んだ項目を参考にしてスピーチ発表	主張を正しく伝えることができる	〃	〃		
13	カタカナ語とそれに対応する英語 2	発想の違い 3	文化的背景を知ることができる 3	書いてまとめる力	〃		
14	英語に訳しにくい日本語 2	発想の違い 4	異文化理解ができる 1	比較する力	〃		
15	まとめ復習と終了テスト	両言語の差異の再確認	異文化理解ができる 2	復習する力	〃		

25前期_英語系2年_TOEIC対策_エリオット尚子 実務家.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	本科目では、TOEICのスコアアップだけでなく、出題形式に沿ったリスニング・文法・読解などの問題を解くことを通してビジネスシーンで必要な語彙力の強化や実践的な英語運用能力を向上させることを目標とする。	公式TOEIC Listening&Reading 800 plus、必要に応じて講師作成のプリント	《実務経験のある教員による授業科目》TOEICでよく出題される基本的な文法事項の確認、ビジネスシーンでよく使われる語彙の確立、音読練習を通してのリスニング力強化を行う。また、限られた時間内で素早く正確に問題を解くことができるようトレーニングを行う。授業内で単語テストを実施し、語彙力をつける。	【専門知識スキル】:基本的な語彙や文法の理解を通して、時間を意識しながら問題を解くことができるようになる。リスニングに関しては、各パートの問題形式に慣れ、ポイントをおさえて聞くことができるようになる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力、傾聴力、課題発見力、状況判断力、規律性。	【受講ルール等】:積極的に授業に取り組む。ペアおよびグループでの知識の確認の際に自ら発言することを心がける。【評価の観点】:出席率、授業態度、グループワークへの取り組み、単語テスト、かつTOEIC公開テストおよびIPテストでの実績や進捗率も加味する。【その他】:単語テストは授業開始時に行う。【評価項目(評価の方法)】:平常点40%(授業態度、ペア・グループワークへの積極性、単語テストを含む)、期末試験20%、TOEICスコア40% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード'(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) Section1パート別 問題の傾向	コースの概要、個々の目標設定	授業運営方法や単語テストの概要などを説明。自身の目標を明確にし、到達点を意識しながら学習できるように。	主体性、働きかけ力、実行力、傾聴力、課題発見力、状況判断力、規律性	【授業運営方法】:ペアやグループでの正答を導く方法の確認や英文の音読など、アクティブラーニングを取り入れる。授業開始時に単語テストを実施。	授業内に指示	
2	Section2 Part3	様々なビジネスのシチュエーションでされる会話の意図をくみ取る	日常のビジネスシーンでなされる会話を習得し、やり取りを自身の場合に置き換えて理解することができる。	〃	〃	授業内に指示	
3	Section2 Part4	日常生活で耳にするアナウンスやナレーションを理解し、意図をくみ取る。	説明文を読み、要点を理解し、パラフレーズを使って要点をまとめることができる。	〃	〃	授業内に指示	
4	Section2 Part5	語彙の問題に取り組む	目で見て理解できる単語を自身がビジネスシーンにおいて実際に使うことを意識しながら再確認することができる。	〃	〃	授業内に指示	
5	Section2 Part5	文法の問題に取り組む	普段意識せずに使っている文法にフォーカスし、TOEICの問題でより確実に正答を導くことを意識できるようになる。	〃	〃	授業内に指示	
6	Section2 Part6	長文穴埋め問題に取り組む	Eメール形式の文の概要を把握し、文章の流れを汲み取り正答を見つけることができる。	〃	〃	授業内に指示	
7	Section2 Part7 Single Pasasge	様々な形式の1つの文書の問題に取り組む	日常の様々な形式の文書を読み、内容を把握し正答を導き出すことができる。	〃	〃	授業内に指示	

25前期_英語系2年_TOEIC対策_エリオット尚子 実務家.xlsx

8	Section2 Part7 Single Passage	様々な形式の1つの文書の問題に取り組む	〃	〃	〃	授業内に指示	
9	Section2 Part7 Double Passage	様々な形式の2つの文書の問題に取り組む	日常の様々な形式の複数の文書を読み、内容を把握し正答を導き出すことができる。	〃	〃	授業内に指示	
10	Section2 Part7 Double Passage	様々な形式の2つの文書の問題に取り組む	〃	〃	〃	授業内に指示	
11	Section2 Part7 Triple Passage	様々な形式の3つの文書の問題に取り組む	日常の様々な形式の複数の文書を読み、内容を把握し正答を導き出すことができる。	〃	〃	授業内に指示	
12	Section2 Part7 Triple Passage	様々な形式の3つの文書の問題に取り組む	〃	〃	〃	授業内に指示	
13	Section3 本番形式テスト Listening	実際の長さ、問題量でTOEIC IP受験に備える	実際のTOEIC形式の問題に取り組むことによって、時間配分等の再確認ができる。	〃	〃	授業内に指示	
14	Section3 本番形式テスト Reading	〃	〃	〃	〃	授業内に指示	
15	期末試験とまとめ	詳細は事前に案内	後期の復習として本試験形式の問題に挑戦し、自身の学習の成果を確かめる。	課題発見力	TOEIC形式のミニテストを実施		

25前期_英語系_2学年_通訳演習_宮村秀美 実務家.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
学年とともに学習内容は高度になり、通訳に必要な知識とスキルを身につける。業界ニーズを熟知した講師の指導のもと、本科目では、日常的なシーンの通訳を通訳訓練を通して習得する。	英語リプロダクショントレーニングアドヴァンス編(参考書)及びプリント教材	≪実務経験のある教員による授業科目≫教科書を中心に基本的通訳技術を習得する。当授業ではシャドウイング、リプロダクション、リピーティングをできるようにする。ノートテイキングについての基礎を学び英日訳が実用レベルで使えるようにする。また、日英訳については平易な文章を実用レベルで活用できるようにする。	【【専門知識スキル】:ナチュラルスピードのパスセージが聞き取る事ができる。シャドウイングが容易にできる。メモ取りをして通訳ができる。情報を整理しまとめられるようになる【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料配布物は整理整頓し自己管理とする。【評価の観点】:・英日、日英の通訳ができているか。・メモ取りに対して正確に訳すことができているか。・文章が正しく理解ができているか。【その他】:3～4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:積極的授業参加度-40%、通訳発表-40%、期末テスト-20% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性がある。進捗状況により内容変更の可能性がある。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード'(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)通訳を行う為の基本訓練についての紹介	通訳訓練の基本4方法を説明	通訳基本訓練の理解 英日→日英の単文訳ができるようになる事	基本作業の実践が出来るようになる	【授業運営方法】:通訳訓練はペアブラックティスしながら進める。 サイトトランスレーションについては個人で行う。 リプロダクションで理解度チェックができるようにする。		
2	(1)シャドウイングについて (2)リスニングの伸ばし方について	「講義」と「教えあい」で知識の定着)説明・発音チェック	シャドウイングの理解、・リスニングのコツの理解。 声を出して速読ができるようになる	主体性、働きかけ力が身につく	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	シャドウイングとクイックレスポンス	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	〃	〃	〃	
4	シャドウイングとクイックレスポンス 通訳基本訓練の理解	平易な内容を利用して文章のクイックレスポンス、	単語レベルから文章のクイックレスポンス出来るようにする	自主的に取り組む事ができる	〃		
5	クイックレスポンス(単語から文章へ)	平易な文章を利用して文章のクイックレスポンス	リテンションの練習をして、出来るだけ長い文章をレポート出来るようにする	発信することができる	〃		
6	リピーティング	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	単語レベルのクイックレスポンスが出来るようになる	〃	〃		
7	メモ取りの基礎練習	メモ取り、略語作成の基礎を学ぶ	英語を聞き取りながら内容をメモ化し、日本語に再生出来るようになる	〃	〃		

25前期_英語系_2学年_通訳演習_宮村秀美 実務家.xlsx

8	エスコート実習のための準備(予定)	意味のまとまりごとにスラッシュを入れ、頭ごなしに訳していく	頭ごなしの英日訳が出来る	集中力	〃		
9	実習(予定)	四間道の神社、仏閣を通訳する	実践を体験することができる	疑問を持って調べる力	〃		
10	スラッシュリーディング(1)	頭ごなしの訳	目で追いながら自然な日本語訳ができるようになる	柔軟性	〃		
11	スラッシュリーディング(2)	〃	〃	〃	〃		
12	ノートテーク(1)	文章をメモ化して、訳す	文章をメモ化して、日本語に再生出来るようになる	積極的に働きかけ力	〃		
13	ノートテーク(2)	メモ化しスピーチの訳出	〃	〃	〃		
14	スピーチ訳、実践	〃	〃	〃	〃		
15	総復習と筆記によるテスト	全体の復習	集中して取り組むことができる	集中力			

24後期_英語系1年_業界研究Ⅱ_野崎恵美_実務家.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
社会人として将来、どのような仕事があり、学んでいることとどのように結びつかを知ることは、授業への動機づけだけではなく、仕事への夢が形になって現実化できる一歩である。後期では、自ら情報を収集・分析することで学生のモチベーションをさらに上げることをねらいとする。	2024 TRIDENT Career Guide Book (適宜)、およびプリント配布。また、授業や講演会でとるノートやメモも大切な教材となるので、指示がなくてもメモをとるようにすること。	《実務経験のある教員による授業科目》エアライン業界での勤務経験のある教員が担当。エアライン業界およびそれ以外の業界を多方面にわたって学び、視野を広げながら就職活動の準備がさらにできるようにする。企業および卒業生による講演を聴講する。学校生活における情報共有や連絡事項の場ともなる。履歴書の書き方を学ぶ。	【専門知識スキル】:就職活動の準備に必要な知識を身につけて活用することができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、柔軟性等(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。ディスカッションを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、就職活動について自らの問題点を見出す能力を身につけ、行動することができる。	【受講ルール等】:資料配布は授業内とする。講演会ではメモを取る習慣をつける。【評価の観点】:エアライン業界および語学力を活かせる業界への理解が深められているか。グループでの協同作業が円滑に行えるか。メモがとれるか。挨拶やメール返信など社会人として通用するマナーを身につけているか。【その他】:3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:出席状況および授業への取り組み姿勢40%、課題・レポート・感想文の提出状況および内容40%、講演会での身だしなみ、メール返信、マナーなどの日常点20% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。講演者の予定によって大幅なスケジュール変更の可能性あり。

実施 回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿 題・提出課題 等	重要用語・キ ーワード'(任意)
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 エアラインゼミの後期カリキュラムについて 進級条件の確認 学習・生活計画表を作る	エアラインゼミの後期カリキュラムについて知る。後期の目標を各自で設定し、達成のためにすべきことを考える。	自分の目標と行動計画を立てることができる	計画力、課題発見力	【授業運営方法】:アクティブラーニングを原則とする。個人作業とグループワーク	授業内で指示	
2	夏休み課題の振り返り、長所短所をひとこと	夏休みの課題を振り返る 長所短所を簡潔に言う	効果的な自己PRについて考えることができる 課題を発見することができる	主体性、働きかけ力、創造力、柔軟性、課題発見力	個人作業とグループワーク	〃	
3	業界ニュース グループワーク 履歴書(右側)	エアライン業界の最新ニュースを調べ、グループで話し合い、発表する 履歴書「私の特長」について考える	知識を増やす 履歴書の書き方がわかり自分で準備することができる	主体性、働きかけ力、創造力、柔軟性、状況把握力	個人作業とグループワーク	〃	
4	企業学内セミナーまたは卒業生講演	企業または卒業生による講演を聴講する	就職活動のためにさまざまな企業の詳細を知る	傾聴力、課題発見力	個人作業とグループワーク	〃	
5	企業学内セミナーまたは卒業生講演(仮予定)	企業または卒業生による講演を聴講する	就職活動のためにさまざまな企業の詳細を知る	傾聴力、課題発見力	個人作業とグループワーク	〃	
6	航空業界の現状と過去の事例 企業用写真撮影について	航空業界の現状と過去の出来事を振り返る 就職活動に必要な写真についての情報	航空業界の知識を増やすことができる 就職活動に必要な写真について知り準備することができる	傾聴力、課題発見力	個人作業とグループワーク	〃	
7	学園祭準備	学園祭に向けての計画、準備	自分の意見他人の意見のまとめ方。仲間と何かを成し遂げるためにどう行動すべきか考える。自分で考えて動くことができるようになる	主体性、働きかけ力、創造力、柔軟性、状況把握力	個人作業とグループワーク	〃	

24後期_英語系1年_業界研究Ⅱ_野崎恵美_実務家.xlsx

8	PROGテスト	社会で求められる汎用的な能力を測るアセスメントテストを実施する	自分の特性や行動スタイルについて知ることができる	課題発見力	個人作業	//	
9	接遇コンテストの練習	週末に控える接遇コンテストの演技を練習し、本番に備える	コンテストで各自が自信を持って披露できるようになる	主体性、働きかけ力、計画性	グループワーク	//	
10	接遇コンテストの練習	週末に控える接遇コンテストの演技を練習し、本番に備える	コンテストで各自が自信を持って披露できるようになる	主体性、働きかけ力、計画性	グループワーク	//	
11	後期の振り返り 合同企業展の準備	後期授業を振り返る 合同企業展参加企業について知る	学校行事を振り返り課題を発見する就職活動のためにさまざまな企業の詳細を知る	主体性、働きかけ力、計画性	個人作業とグループワーク	//	
12	企業学内セミナーまたは卒業生講演	企業または卒業生による講演を聴講する	就職活動のためにさまざまな企業の詳細を知る	傾聴力、課題発見力	個人作業とグループワーク	//	
13	講演会「労働法セミナー」(予定)	労働条件や労働法、労働トラブルなどについて外部講師のレクチャーを受ける	講演を聴講し、メモがとれるようになる 就職前に自分自身に関わる労働法を知り将来に活かすことができる	傾聴力	個人作業	//	
14	企業学内セミナーまたは卒業生講演	企業または卒業生による講演を聴講する	就職活動のためにさまざまな企業の詳細を知る	傾聴力、課題発見力	個人作業とグループワーク	//	
15	後期の振り返り	PDCAを考慮し、生活・学習計画表を記入する 春休みの計画を考える	自分の進路に向けて、後期を振り返り、次の行動計画を立てることができる	課題発見力、主体性、計画力	個人作業とグループワーク	//	

24後期_英語系1年_就職研究Ⅱ_河合加奈代_実務家.xlsx

実施回	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	志望する業界・職種・企業を意欲した就職活動が行えるよう、事前準備を行い、主体的にスムーズに移行できるようにする。	(1) CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2) 事前配布プリント (前期分含む)	《実務経験のある教員による授業科目》企業で人事・採用を経験した教員が担当。エアライン面接対策Ⅱと並行しながら、就職活動の流れ、傾向、身だしなみ、マナー、ESや履歴書の考え方・書き方、面接の形式と模擬面接の実施を行う。企業が求める人材を意識しながら習得する。	【専門知識スキル】: 1. 学校で培った専門性や自分の理想像が何か知る。その上でそれを生かした企業や職種への就活を行う。 2. 近年の就職スケジュールと傾向を理解し、活動時期と企業が求める人材を理解する。 3. 面接の基本動作ができる。 4. 今後始まる就職活動を、主体的にスムーズに移行できるようにする。【社会人基礎力】: 社会人基礎力を身につけることが、企業が求める人物像であることを理解する。就職を研究することで、自身が求められる人材になるために必要な要素や能力を考えることで身に付ける。	【受講ルール等】: (1) 使用テキストとワークブック、配布プリントは必ず持参する。(2) 課題の提出期限は原則として授業開始時であり、積極的に取り組み、期限を守ること。指定された期限までに提出できない場合は、みずから提出の姿勢を見せ講師の指示に従うこと。(3) 欠席・公欠(遅刻早退含む)に関わらず、授業の進捗や提出物の期限・有無をみずから確認すること。【評価の観点】: 詳細は受講ルール、評価項目を参照。【評価項目(評価の方法)】: (1) 授業への取り組み姿勢(授業内課題、配付資料の理解度)・・・40% (2) 課題の提出及び提出物の内容の充実度・完成度の評価・・・40%、(3) 出欠点・・・20%、以上の(1)(2)(3)をもとに、態度(含身だしなみ)不可のものをマイナス評価したうえで、最終的にABCF評価。【その他】: 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。		
	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
	1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2)前期の復習と後期の課題	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 (2)9月以降にすべきこと、注意点	科目の狙い、評価基準、秋から春にかけて、就職活動の動向と、前期授業の繋げ方が理解できる	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1) CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2) 事前配布プリント(前期分含む) (3) 配布プリント(前期分含む)	
	2	(1)ガクチカで考えるポイント (2)ガクチカの作り方 (3)ガクチカの作成1	就職活動におけるガクチカの重要性。採用側視点に立ったガクチカのポイント。	職種特性・企業が求める人材を理解し、自己分析からガクチカが作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1) CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2) 事前配布プリント(前期分含む) (3) 配布プリント(前期分含む)	職種理解→学び→強み
	3	ガクチカの作成2	就職活動におけるガクチカの重要性。採用側視点に立ったガクチカのポイント。	職種特性・企業が求める人材を理解し、自己分析からガクチカが作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1) CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2) 事前配布プリント(前期分含む) (3) 配布プリント(前期分含む)	ガクチカ メール提出 職種理解→学び→強み
	4	(1)航空業界の企業と業種(2)職種理解(3)応募資格と求められる人物像	(1)航空会社と全国の空港ごとのハンドリング会社と業種(2)CA・GSの業務内容と内的キャリア	航空会社の過去の募集状況を知る。地域や職種を理解し、企業選択が行えるようにする。自身の内的キャリアを職種や企業と結び付けられる。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性	【持参物】: (1) CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2) 事前配布プリント(前期分含む) (3) 配布プリント(前期分含む)	過去応募資格 CA・GSの仕事理解と目指すもの
	5	(1)志望動機で考えるポイント(2)志望動機の作りかた(3)志望動機の作成1	志望動機とは何か。志望動機の作り方。志望動機の構成要素。	企業特性や求める人材・空港特性を理解し、志望する根拠が何かポイントを理解し作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1) CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2) 事前配布プリント(前期分含む) (3) 配布プリント(前期分含む)	4コマ目配布プリント提出 JAL・ANA 企業理念/行動指針/フィロソフィー

24後期_英語系1年_就職研究Ⅱ_河合加奈代_実務家.xlsx

6	志望動機の作成2	志望動機とは何か。志望動機の作り方。志望動機の構成要素。	企業特性や求める人材・空港特性を理解し、志望する根拠が何かポイントを理解し作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)		JAL・ANA 企業理念/行動指針/フィロソフィー
7	(1)志望動機完成(2)ESと面接で使用する志望動機の違い	志望動機とは何か。志望動機の作り方。志望動機の構成要素。	企業特性や求める人材・空港特性を理解し、志望する根拠が何かポイントを理解し作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)	志望動機メール提出	JAL・ANA 企業理念/行動指針/フィロソフィー
8	ES準備、面接準備1	(1)履歴書用写真の重要性、ポイント(2)ESで求められる写真との違い「あなたらしさなど」(3)面接で評価されるの身だしなみのポイント、ビジネスカジュアルの定義	アピールに繋がる写真について理解できる、自身に似合うメイク・身だしなみの確認。スーツのサイズチェックやビジネスカジュアルとは何か理解する。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)		
9	ES準備、面接準備2	航空会社や関連企業の過去のES内容や面接質問を探索	志望企業の選定と求める人物像を知る。自身に不足しているものを知り準備に繋げることができる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)		
10	エントリーシートで考えるポイント	エントリーシートの書き方、伝え方、一貫性。	採用担当者が評価するエントリーシートについて理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)		
11	エントリーシートの作成1	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	企業が求める人材を理解し、見やすさ・分かりやすさ・一貫性・評価される内容が理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)		
12	エントリーシートの作成2	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	企業が求める人材を理解し、見やすさ・分かりやすさ・一貫性・評価される内容が理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)	エントリーシートの提出	
13	エントリーシートの完成	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	就職活動の本番で応募書類として適用する水準のエントリーシートが作成できる。採用側の狙いを含め理解するとともに、印象的で分かりやすいESが作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)	エントリーシートの提出	
14	(1)面接試験の形式 (2)面接のポイントと注意点 (3)WEB面接の注意点とポイント	航空会社によって異なる面接形式の種類と特徴。面接で評価されるポイント。WEB面接での注意点とポイント。	面接の形式や質問内容は、すべて企業側の意図があることを理解し、それを踏まえた回答を考えることができる。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む) (4)学生PC持参		学生PC持参
15	働くための基礎知識、まとめ	雇用条件、給与明細、社会保険等について。航空業界の求人状況と傾向。今後の就職活動への活かし方。	本格化する就職活動にむけて、自分らしさ・やりがいを理解し主体的に行動し、働く意義に繋がられる。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力	【持参物】: (1)CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト (2)事前配布プリント(前期分含む) (3)配布プリント(前期分含む)		

24後期_英語系2年_TOEIC対策_L5_桑村昭

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
基礎的なビジネス・実用英語の理解力を測定するTOEIC L & R Test の更なるスコアアップを目指す。本科目では、難関問題を解くことを通して解答精度を高めるスキルを習得する。そのために、職場や日常のコミュニケーションの聴解、語彙・文法の把握、実用文書の読解に渡る領域について出題形式に沿った実践的なトレーニングを行う。2年次では特に、難易度を見極めての時間配分を意識した戦略的な解答スキルとそのため背景知識ベースを強化する。学生は現在所持する高得点に甘んじることなく、その維持に努めつつ、更に高みを目指す。	TOEIC®L&R テスト990点獲得全パート難関模試: 別冊	≪実務経験のある教員による授業科目≫科目の狙いで一部触れたが、TOEIC対策授業では、限られた試験時間内で解答の精度を更に高めるトレーニングを通じて、ビジネスや日常場面の理解力の向上と、その結果としての更なるスコアアップを目指す。具体的には、難問を集めた実践形式のテスト2回分(Test 1、Test 2))を使って 2年次前期までに蓄積した関連知識をフル活用しつつ、実社会でやりとりされる多様な発話パターンや実用文書の正確な理解と、そのために必要な基礎的な語彙・文法知識の定着を図る。特に、時間を要する長文の読解に重点を置く。授業では、全体のディスカッション、ペアワーク及びグループワークによる解答解説前後の意見交換を通して学生間の知識の確認を行い、理解を深める。 This course intends to equip lower advanced learners of English with strategic and effective testing skills as well as enhance better understanding of various business and ordinary discourses in the English-speaking context. In doing so, it will use two full sets of challenging practice tests which will hopefully even further improve their already high TOEIC scores.	【専門知識スキル】:ビジネス場面の状況把握が限定的にできる。問題中の人間関係を把握できる。背景を考えつつ限られた時間内で選択肢を絞ることができる。既習知識を駆使した問題対応ができる。既に獲得している高いスコア水準に甘んじることなく、其の維持に努めつつ、高みを目指す。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。自らの創造力と計画力を通して、主体的に行動し、チーム内外に働きかけ発信しながら、テーマの課題について問題点を見出し解決する能力を身に付ける。	【受講ルール等】:資料配布は授業時間内及びGoogle上で行う。課題の提出は期限厳守とする。解答解説後は正解に至る根拠を具体的に述べられるよう、各問題に各自真剣に取り組むこと。【評価の観点】:授業への出席及び積極的な参加、教室活動に取り組む姿勢、小テスト、TOEIC IPの受験結果により評価する。【その他】:授業内語彙テストは、指定日に行う。遅刻者や欠席者への振り替え実施は特例以外行わない。【評価項目(評価の方法)】:平常点(出席・教室活動への参加)-40%、小テスト-20%、検定受験(TOEIC IP)-40% なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点する。対面授業とオンライン授業を並行する可能性がある。進捗状況により内容変更の可能性ある。

実施回		内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード'(任意)
1	Introduction, Test 1 Listening: Part 1 (Photographs)	授業の内容・進め方・方針、評価方法、到達目標、授業計画の説明。ニーズ調査の実施。TOEIC出題範囲の傾向。写真描写問題の演習1回目。	授業概要の理解。リスニング写真描写問題の難問の傾向を把握する。	ビジネス関連場面・状況の把握力、多様な発話の傾聴力・理解力、問題解決に際しての柔軟性・課題発見力、数ある選択肢を考え抜く力、計画性、働きかけ力など、実社会で求められる社会人基礎力をTOEICの難問を解くことを通して更に磨いていく。	毎回、実戦形式の問題をPart単位で解いて、答え合わせをし、解説を行う。学期の前半はTest 1、後半はTest 2 を各々実施する。	語彙テスト準備の他授業外学習・課題の把握	

24後期_英語系2年_TOEIC対策_L5_桑村昭

2	Test 1 Listening: Part 2 (Question-Response) – Part 3 (Conversations)	応答問題と会話問題の演習1回目。	リスニング応答及び会話問題の難問の理解、演習を通して正しい応答を選択できるようになる	//	//	TBA (追って通知)	
3	Test 1 Listening: Part 3 (continued)	会話問題の演習1回目(続き)。	リスニング会話問題の難問の理解、演習を通して正しい答えを選択できるようになる	//	//	TBA	
4	Test 1 Reading: Part 4 (Talks)	説明文問題の演習1回目。	リスニング説明文問題の難問の理解、演習を通して正しい答えを選択できるようになる	//	//	TBA	
5	Test 1 Reading: Part 5 (Incomplete Sentences) – Part 6 (Text Completion)	短文穴埋め問題と長文穴埋め問題の演習1回目	リーディング短文穴埋め問題の難問の理解、演習を通して正しい答えを選択できるようになる	//	//	TBA	
6	Test 1 Reading: Part 7 (Single Passages)	長文読解問題(一つの文書)の演習1回目	リーディング長文読解問題の1つまたは複数のパッセージの読解演習や要約を通して理解を深め、正しい答えを選択できるようになる。	//	//	TBA	
7	Test 1 Reading: Part 7 (Multiple Passages)	長文読解問題(複数の文書)の演習1回目	//	//	//	TBA	
8	Midterm – Test 1 Review	ポイントの把握及び復習	正答に至るプロセスを再確認し、次回に活かす準備を整えられる。	//	Test 1の各Partで出題された難問問題の傾向を整理して、理解を深め、知識・スキルとして定着させる。	TBA	
9	Test 2 Listening: Part 1 (Photographs) – Part 2 (Question-Response)	写真描写問題と応答問題の演習2回目。	リスニング写真描写・応答問題の更なる理解、演習を通して難問の傾向をより明確に把握し、より正答に至ることができる。	//	毎回、実戦形式の問題をPart単位で解いて、答え合わせをし、解説を行う。学期の前半はTest 1、後半はTest 2 を各々実施する。	TBA	
10	Test 2 Listening: Part 3 (Conversations)	会話問題の演習2回目。	リスニング会話問題の難問の更なる理解、演習を通して更なる理解、演習を通して難問の傾向をより明確に把握し、より正答に至ることができる。	//	//	TBA	
11	Test 2 Reading: Part 4 (Talks)	説明文問題の演習2回目。	リスニング説明文問題の難問の更なる理解、演習を通して更なる理解、演習を通して難問の傾向をより明確に把握し、より正答に至ることができる。	//	//	TBA	

24後期_英語系2年_TOEIC対策_L5_桑村昭

12	Test 2 Reading: Part 5 (Incomplete Sentences) – Part 6 (Text Completion)	短文穴埋め問題と長文穴埋め問題の演習2回目	リーディング短文穴埋め問題の難問の理解、演習を通して更なる理解、演習を通して難問の傾向をより明確に把握し、より正答に至ることができる。	〃	〃	TBA	
13	Test 2 Reading: Part 7 (Single Passages)	単一長文読解問題(一つの文書)の演習2回目	リーディング長文読解問題の1つまたは複数のパッセージの読解演習や要約を通して更なる理解、演習を通して難問の傾向をより明確に把握し、より正答に至ることができる。	〃	〃	TBA	
14	Test 2 Reading: Part 7 (Multiple Passages)	複数長文読解問題(複数の文書)の演習2回目	リーディング長文読解問題の1つまたは複数のパッセージの読解演習や要約を通して更なる理解、演習を通して難問の傾向をより明確に把握し、より正答に至ることができる。	〃	〃	TBA	
15	Last Class – Wrap-up	まとめ	2つの難関実践テストのトレーニングを振り返り、ビジネス・日常場面及び関連語彙を総合的に復習し、次回のTOEIC IPにフルに活かす。	〃	Test 1、Test 2の各Partで出題された難問問題の傾向を改めて整理して、総合的な理解を深め、知識・スキルとして更に定着させる。	TBA	